

令和7年度下半期指定管理者管理運営状況シート

●施設の概要

施設名	岐阜市少年自然の家	所管課	教育委員会事務局 社会・青少年教育課
所在地	岐阜市山県北野2081番地		
指定管理者名	公益財団法人 岐阜市教育文化振興事業団		
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日		
選定方法	☐ 公募 ☒ 非公募		
料金制	☒ 使用料 ☐ 利用料金 ☒ 料金徴収なし		
指定管理委託料（年額）	139,953,000円		
施設の設置目的	少年が自然に親しみ、自然の中で集団宿泊生活を通じてその情操や社会性を豊かにし、心身を鍛練し、もって健全な少年の育成を図る		
施設概要	宿泊棟、キャンプ場、多目的ホール、研修室（4）、音楽室、和室、クラフト室		

●利用状況

	R7 下半期	R7 上半期	R6 下半期	R6 上半期	R5 下半期
利用者数（単位：人） 団体数（単位：団体）	6,829(199)	9,513(374)	6,750(170)	10,034(404)	6,807(193)
開所日数（単位：日）	146	150	144	151	145
団体利用可能日数（単位：日） ※1	140	150	137	151	140
団体利用実績日数（単位：日）	114	130	96	136	116
施設稼働状況（単位：%） ※2	81.4	86.7	70.1	90.1	82.9
※1 【開所日数】－【施設メンテナンス等により利用できない日数】 ※2 【団体利用実績日数】÷【団体利用可能日数】					

●業務の履行確認

区 分	確 認 事 項	履 行 状 況
利用者サービス	①供用日・供用時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応	①岐阜市少年自然の家条例施行規則を遵守している。 ②月単位の勤務ローテーション表のほか、週単位の割り当て業務を記載した勤務表も作成し、計画的に人員を配置している。 また、教員OBや専門的な資格を有する職員を配置し、その経験や専門性を生かせるよう配慮している。 ③ホームページ、パンフレット、チラシ等による広報活動のほか、SNSを通じた広報・情報発信を充実させた。 出前講座等を通して、他施設の利用者にも直接呼びかけを行っている。 ④迅速かつ丁寧な対応を行っている。
指定事業自主事業	○受入事業を実施 ○下記主催事業を実施 ①家族対象事業 ②子ども対象事業 ③成年対象事業 ④市民対象事業 ○下記事業協力を実施 ①「自然体験ミニイベント」 ②「三輪北文化のつどい」（地元への事業協力） ○下記研修・啓発事業を実施 ①「ボランティアスタッフ研修会」 ②出前講座の実施 ③施設の情報発信による啓発活動の実施 ○研究・開発事業を実施	○受入事業 ・189団体6,005人受入れ ○主催事業 ①4事業 82家族289人参加 ②1事業 21人参加 ③1事業 雪のため中止 ④2事業 495人参加 ○事業協力 ①1事業567人参加 ②自然の家コーナーに47人参加 ○研修・啓発事業 ①1回19人参加 ②5回188人参加 ③下記の取組みを実施 ・「山県北野周辺で見られる鳥の写真展」の開催 ハートフルスクエアG（10～3月） ・「インスタ写真展」の開催 草潤中学校（10～3月） 中央青少年会館（10～3月） ・「自然の家だより」、「季節の散策マップ」の発行 ・SNS（Instagram・Facebook・YouTube）による配信 ○研究・開発事業 ・SDGsを主体としたプログラムの作成 ・各種職員研修の実施 ・周辺の動植物調査及びデータ収集 ・「自己課題」への取組み

区 分	確 認 事 項	履 行 状 況
施設管理	①日常・定期清掃業務 ②寝具クリーニング ③空気環境測定 ④水質検査 ⑤その他	①【日常】開所日実施 【定期】10・11・12・1・2・3月実施 ②2・3月実施 ③11・1・3月実施 ④1月実施 ⑤職員による施設点検（整備） 【館内外点検】 ・団体の退所時 ・休所日前、休所日後 【キャンプ場】【散策道】 ・団体の入所前、荒天後 【豚熱対策として消石灰の散布】 ・期間:10月1日～3月31日 頻度:月に4～5回程度 ※その他、仕様書に基づき適正に実施
施設修繕	①迅速な修繕の実施 ②指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備の実施	①迅速な修繕の実施例 ・厨房照明器具取替修繕 ・非常通報装置取替修繕 ・漏電遮断器取替修繕 ・自動火災報知設備取替修繕 ・誘導灯取替修繕（本館棟2階食堂通用口） ・男子浴室補給水用バタフライバルブ取替修繕 ・消火配管取替修繕 ②指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備の実施例 ・散策道の整備 ・活動備品の点検、修繕、更新 ・ウォークラリー、オリエンテーリングの看板取替 ・宿泊室天井、網戸の修繕 ・キャンプ場整備
危機管理・法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①下記の取組みを実施 ・個人情報保護体制について、窓口やホームページで公開している。 ・個人情報保護担当者を配置している。 ・「個人情報保護研修会」を実施している。 ・個人情報保護研修会 ②下記の取組みを実施 ・「土砂災害に関する避難等の対応について」を策定し、運用している。 ・各種安全マニュアルの見直し、改善を図り適切に運用している。 ・ウォークラリー、オリエンテーリングのコース点検、巡回を適切に行っている。 ・消防訓練、防火設備等の管理を継続して適切に行っており、「表示マーク（金）」の交付を受けている。 ③下記の取組みを実施 ・岐阜市少年自然の家条例、岐阜市少年自然の家条例施行規則等、関係法令を遵守している。

●利用者評価

○受入事業

- ・「利用者アンケート」…すべての利用団体を対象に実施
質問内容：「利用全般」「職員の対応」など
- ・聞き取りによる調査…各活動に対応した職員が要望等の聞き取りを実施

○主催事業

- ・「参加者アンケート」…すべての主催事業で実施
質問内容：事業の満足度、自然の家の3つの願いの達成度など
- ・聞き取りによる調査…各活動に対応した職員が要望等の聞き取りを実施

○受入事業

①「利用者アンケート」 ※カッコ内は「大変満足」「満足」の合計が全体に占める割合

ア)回収枚数 102枚

イ)各項目の満足度・主な意見

「利用全般」	(99.1%)	：大変満足 67.5%	満足 31.6%	普通 0.9%	不満 0.0%	大変不満 0.0%
「施設・設備」	(96.1%)	：大変満足 59.9%	満足 36.2%	普通 3.9%	不満 0.0%	大変不満 0.0%
「職員の対応」	(99.1%)	：大変満足 78.8%	満足 20.3%	普通 0.9%	不満 0.0%	大変不満 0.0%
「食堂の食事」	(85.5%)	：大変満足 50.1%	満足 35.4%	普通 13.5%	不満 1.0%	大変不満 0.0%

内訳

【初回利用団体】 13枚

「利用全般」	(92.9%)	：大変満足 64.3%	満足 28.6%	普通 7.1%	不満 0.0%	大変不満 0.0%
「施設・設備」	(100%)	：大変満足 69.2%	満足 30.8%	普通 0.0%	不満 0.0%	大変不満 0.0%
「職員の対応」	(92.9%)	：大変満足 71.5%	満足 21.4%	普通 7.1%	不満 0.0%	大変不満 0.0%
「食堂の食事」	(92.9%)	：大変満足 42.9%	満足 50.0%	普通 7.1%	不満 0.0%	大変不満 0.0%

【複数回利用団体】 89枚

「利用全般」	(100%)	：大変満足 67.9%	満足 32.1%	普通 0.0%	不満 0.0%	大変不満 0.0%
「施設・設備」	(95.6%)	：大変満足 58.6%	満足 37.0%	普通 4.4%	不満 0.0%	大変不満 0.0%
「職員の対応」	(100%)	：大変満足 79.8%	満足 20.2%	普通 0.0%	不満 0.0%	大変不満 0.0%
「食堂の食事」	(84.2%)	：大変満足 51.3%	満足 32.9%	普通 14.6%	不満 1.2%	大変不満 0.0%

《主な意見》

- ・急なクマ対応に関わらず、準備していただきありがとうございました。計画通りの活動ができ満足しています。
- ・どの職員もとても丁寧に对应していただき、安心して利用ができた。
- ・少人数ですが、2人も職員さんが対応してくださり、子ども達も生き生き取り組めていました。温かく優しい言葉かけをしていただき安心して活動できたと思います。
- ・昼食の豚玉丼、児童は我さきと争って食べてました。しおりの「今日の輝いた人」のコーナーに「食堂の方」と書きたいそうです。

利用者アンケートの
実施状況

○主催事業

- ・「参加者アンケート」 ※カッコ内は「大変満足」「満足」の合計が全体に占める割合

①家族対象事業

●ファミリーDAY クラフト編 (日程：半日 12/14)

ア)回収枚数 12枚

イ)事業の満足度・主な意見

【初回参加】 8枚

「満足度」(100.0%)： 大変満足 62.5% 満足 37.5% 普通 0.0% 不満 0.0% 大変不満 0.0%

【複数回参加】 4枚

「満足度」(100.0%)： 大変満足 75.0% 満足 25.0% 普通 0.0% 不満 0.0% 大変不満 0.0%

《主な意見》

- ・普段できない体験をさせていただき、楽しく過ごすことができました。
- ・困っているときに、すぐに声をかけてもらえて助かりました。

●ファミリーキャンプ (日程：半日 10/19)

ア)回収枚数 8枚

イ)事業の満足度・主な意見

【初回参加】 5枚

「満足度」(100.0%)： 大変満足 80.0% 満足 20.0% 普通 0.0% 不満 0.0% 大変不満 0.0%

【複数回参加】 3枚

「満足度」(100.0%)： 大変満足 100.0% 満足 0.0% 普通 0.0% 不満 0.0% 大変不満 0.0%

《主な意見》

- ・火おこしは普段やらないため、火のありがたさを感じられてよかったです。
- ・外でごはんを食べるのが気持ち良かったです。
- ・安全第一に運営していただき、ありがとうございました。

●ファミリーステイⅠ (日程：1泊2日 ①11/29～30、②12/6～7)

ア)回収枚数 32枚

イ)事業の満足度・主な意見

【初回参加】 17枚

「満足度」(100.0%)： 大変満足 52.9% 満足 47.1% 普通 0.0% 不満 0.0% 大変不満 0.0%

【複数回参加】 15枚

「満足度」(100.0%)： 大変満足 86.7% 満足 13.3% 普通 0.0% 不満 0.0% 大変不満 0.0%

《主な意見》

- ・普段の生活と違い、家族との対話が增え、体験も楽しく参加することができました。不便に感じることで、逆に有難みを感じることもあり、良い時間でした。
- ・全ての活動が楽しく、思い出に残るものでした。レクリエーションが家族や他家族とも一緒に楽しく参加でき、とても楽しかったです。職員の皆様、ボランティアの方々のおかげでゆっくり家族と過ごすことができました。

●ファミリーステイⅡ (日程：1泊2日 ①1/31～2/1、②2/7～8)

ア)回収枚数 30枚

イ)事業の満足度・主な意見

【初回参加】 2枚

「満足度」(100.0%)： 大変満足 50.0% 満足 50.0% 普通 0.0% 不満 0.0% 大変不満 0.0%

【複数回参加】 28枚

「満足度」(100.0%)： 大変満足 89.3% 満足 10.7% 普通 0.0% 不満 0.0% 大変不満 0.0%

《主な意見》

- ・大人も子どももゲームやスマホづけの生活から離れることができ、それらがなくても楽しく過ごせるいい機会となりました。散策ができる日を心待ちにしています。
- ・館内ラリーや工作等を通して、子どもとゆっくりじっくり向き合える時間がもてた。職員の皆様の企画と大学生のボランティアスタッフの皆様のおかげで毎回楽しい時間を過ごせています。

②子ども対象事業

●自然は友だちキャンプ 挑戦！冬遊び隊 (日程：1泊2日 1/17～18)

ア)回収枚数 21枚

イ)事業の満足度・主な意見

【初回参加】 7枚

「満足度」(85.7%)： 大変満足 57.1% 満足 28.6% 普通 14.3% 不満 0.0% 大変不満 0.0%

【複数回参加】 14枚

「満足度」(100.0%)： 大変満足 92.9% 満足 7.1% 普通 0.0% 不満 0.0% 大変不満 0.0%

《主な意見》

- ・同じ班の仲間たちと、野外炊事を初めから片付けまで全てできてよかったです。
- ・今まで参加した時よりもすぐに仲良くなることができて、一緒に遊んだり話したりすることができてよかったです。テントの片付けや準備もスムーズにやれてよかったです。

	④市民対象事業 ●遊湯わくわく三輪 （日程：半日 2/11） 参加者 94人 《主な意見》 ・ハンドベルも落語もすてきでした。体験や遊びも、子どもがとても楽しめました。 ・初めておじゃましましたが、イベントも子供たちが上手に行っていてとても楽しかったです。ゆっくりお風呂もいただいて、ぜんざいもおいしかったです。 ●岐阜ファミリーパークまつり「ファミリーフェア」 （日程：1日 3/20） 参加者401人 《主な意見》 ・子どもが大変喜んでいました。簡単にできる工作ばかりで、家でもやってみます。 ・いつもお風呂や館内がピカピカで気持ち良いです。タオルの貸し出しもあり、助かります。 ・昨年とっても楽しかったので、リピートで来ました。親も子も楽しませてもらいました。また来年にも期待しています。
利用者からの 要望・苦情と 対処・改善	○受入事業 意見等に対しては、担当職員が直接本人に回答している。また、宿直職員と団体指導者との打合せ会等で、施設としての考え方を説明している。 利用者全般に関わる内容については、ホームページを活用し、意見等に対する考えや対応について回答している。 《主な意見と対応》 ・暖房の温度調節が部屋でできるとありがたい。 ⇒利用者アンケートにおいて、暑さ・寒さに関する意見が複数寄せられているが、現在の空調システムでは各室ごとの温度調整ができない状況である。そのため、深夜のタイマー設定の調整など運用面での工夫により、室温環境の改善に努めている。今後については、各室へのエアコン設置等も含め、引き続き市所管課と協議していく。 ・中学生男子、大人指導者にとっては、もう少し量を増やしてほしい。（食堂食） ⇒当該団体は通常テント泊と野外炊事で利用しているが、今回は野生動物の目撃情報の影響により宿泊棟および食堂食での対応となった。食事量の追加が可能であることの説明が十分でなかった可能性があるため、帰りの際に代表者へ増量注文が可能である旨を説明した。後は、受付時のチェックシート活用により、説明漏れの防止に努めていく。
前回までの意見を 踏まえた取組み状況	・食事の関係は、前回に比べて非常に良くなっているという評価があつて本当に良かった。 ⇒これまで、利用者アンケートや現場での意見を踏まえ、メニュー内容の見直しや提供方法の工夫、食事環境の改善等に継続的に取り組んできた結果、利用者満足度の向上につながったものと考えている。 今後も、利用者ニーズを的確に把握しながら、より一層の質の向上と安定したサービス提供に努め、誰もが安心して満足できる食事の提供を継続していく。 ・生物やその地域の地層であったり、歴史であったり、そういったものを深掘りできるような専門性が職員の方にあると、もっと満足性が高いものになってくるのではないかなと思うので、ぜひその辺りもさらに専門性を深めていただければありがたい。 ⇒生物や地域の自然・歴史に関する理解を深めるため、職員の専門性向上に努めている。下半期には、クマの生態やリスク対策に関する研修を実施し、知識の深化と指導内容の充実を図った。今後も、利用者の学びや満足度の向上に向け、専門性の充実に努めていく。
今後の取組み	・事業計画書に記載した内容の着実な履行 ・専門性の追求と魅力あるプログラム開発 ・市の施策に応じた事業の展開 「岐阜市教育大綱」の基本方針を踏まえた、自然の家3つの願い「ほほえみ」「なかま」「自然」の具現化「サードプレイス」としての居場所づくりにつながる事業への取組み ・SDG s への取組 活動プログラムとSDG s を関連付けした事業展開 ・自然の家を取り巻く環境の変化に応じた取組み 岐阜ファミリーパーク再整備に向けた提案や、多様な地域資源を生かした事業展開 ・経費の縮減とサービスの向上の実現 既存業務の見直し、事務の簡素化・効率化の意識向上 ・給食業務の安全対策の強化と着実な実施 ・突発的リスクへの対応と所管課との連携強化 野生動物出没による活動プログラムの制限や、国際情勢に起因するA重油の供給の不確実性等、施設運営に影響を及ぼすリスクに対し、所管課や関係機関との情報共有を徹底するとともに、状況に応じた運営調整を行うなど、安定的な施設運営の確保に向けた取組み

●指定管理者の選定基準に基づく評価

【少年自然の家】

区 分	選定基準	評 価 項 目	具体的な業務要求水準	評 価		
				指定 管理者	所管課	評価 委員会
Ⅰ 公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	(1) 平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	すべての利用者からモニタリングを実施し、結果を真摯に受け止め改善に取り組んでいるか。 先進的な類似施設の取組みを取り入れたり、他施設との連携を図ったりしているか。 人権啓発等様々な研修会へ参加し、施設運営の改善に生かしているか。	A	A	
		(2) 情報提供、広報の方策	情報公開体制を規定し、各種媒体や学校への積極的な広報、ホームページの充実など、広報活動の推進を図っているか。	A	A	
		(3) 個人情報保護のための方策	個人情報保護体制を公表し、個人情報の取り扱いについて十分配慮しているか。	A	A	
		(4) その他指定管理者の提案によるもの		A	A	
		区分評価				
Ⅱ 効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用（設置目的）を最大限発揮するものであること	(1) 既存業務の改善、工夫又は新規の魅力的な提案の有無、内容	各事業について改善、工夫又は新規の取組みを積極的に行っているか。 〈受入事業〉、〈主催事業〉、〈研修・啓発事業〉、〈研究・開発事業〉、〈自主事業〉	S	S	
		(2) 利用者ニーズ、苦情などの把握方法及び対応方策	アンケート等の調査を適宜行い、利用者ニーズ、苦情などに適切に対応しているか。	A	A	
		(3) 利用者に対するサービス向上の方策（窓口対応、プロモーション、設備の整備など）	接遇、プロモーション活動の推進、ニーズに応じた設備整備の推進に努めているか。	A	A	
		(4) 利用促進、利用者増の方策	閑散期に特化した活動プログラムや、季節感が感じられる新しい活動プログラムなどを提供し、そのプロモーションを実施しているか。 公園管理者や体育館との協力事業を推進しているか。	A	A	
		(5) サービスの質を確保するための体制、モニタリングなど	利用者へのきめ細やかなモニタリングに基づき改善ができているか。 体育館・公園管理者及び類似施設との協力体制が構築できているか。	A	A	
		(6) 施設の効用（設置目的）を最大限発揮できるスタッフの配置	高度な専門性とノウハウを備えた専門職員が、充実した指導・支援を行っているか。	S	S	
		(7) その他指定管理者の提案によるもの		A	A	
		区分評価				
Ⅲ 効率性	事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること	(1) 指定管理経費の妥当性（サービスとコストのバランスなど）	適正な予算措置を行い、経費の削減とサービス向上の両立が図れているか。またそのための職員体制は十分か。	A	A	
		(2) 収支計画の妥当性	過去の実績をもとに、必要経費の見直しを図り、実情に即した収支計画を立案しているか。	A	A	
		(3) 管理経費縮減の具体的方策	簡易な修繕は職員で行う、消耗品等を一括で購入する、電気使用量・料金の縮減を図る等、コスト縮減に向けた取組みを実施しているか。	A	A	
		(4) その他指定管理者の提案によるもの		A	A	
		区分評価				

区 分	選定基準	評 価 項 目	具体的な業務要求水準	評 価		
				指定 管理者	所管課	評価 委員会
Ⅳ 安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	(1) 経営基盤の安定性	公益法人としての高い信頼性はあるか。 安定した財務内容であるか。	A	A	
		(2) スタッフ配置の妥当性	職員への指導、支援体制の充実とともに、無理のない勤務体制が図れているか。	A	A	
		(3) 組織及びスタッフ（採用予定者も含む）の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識など	自然の家の運営に適した資格を保持し、職員の専門性とノウハウを活用できているか。	S	S	
		(4) スタッフの管理、監督体制	目標や達成状況を職員間で共有し、普段から報告・連絡・相談が徹底されているか。 職員が働きやすい環境が整備されているか。	A	A	
		(5) スタッフの人材育成の方策	能力向上のための様々な研修会を定期的に実施・参加し、実務に活かしているか。	A	A	
		(6) リスクへの対応方策、利用者への安全確保策、防止策、非常時の対応マニュアルなど	リスクへの対応に万全を期し、安全・安心な施設運営を行っているか。	S	S	
		(7) リスクへの対応能力（資金力、損害賠償能力など）	全国市長会市民総合賠償補償保険での対応に問題はないか。 施設に関する賠償責任保険及び事業保険に加入しているか。資金力に問題はないか。	A	A	
		(8) その他指定管理者の提案によるもの		A	A	
		区分評価				
Ⅴ 貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域（以下「地元」という。）の振興、活性化などに貢献できるものであること	(1) 地元の法人その他の団体の育成（一部業務の再委託先）	三輪地域の振興に貢献できるような協力事業、出展事業を推進しているか。 市内各種団体の健全な育成に寄与できるよう努めているか。	S	S	
		(2) 地元の住民、高齢者、障がい者等の雇用	地元の住民、高齢者、障がい者を積極的に雇用しているか。	A	A	
		(3) 地元での資材等の調達	備品、資材等を調達する際は、原則、市内の業者に発注しているか。	A	A	
		(4) 地元での社会活動等への参加	「安全・安心のまち 三輪」を推進する施設としての役割を果たしているか。 行事などを通して、幅広く地元での活動に参加しているか。	A	A	
		(5) その他指定管理者の提案によるもの		A	A	
		区分評価				

今期の取組みに対するA以外の評価

II 効果性（事業計画書の内容が、対象施設の効用（設置目的）を最大限発揮するものであること）

(1) 既存業務の改善、工夫又は新規の魅力的な提案の有無、内容

各事業について改善、工夫又は新規の取組みを積極的に行っているか。

〈受入事業〉、〈主催事業〉、〈研修・啓発事業〉、〈研究・開発事業〉、〈自主事業〉

指定管理者の意見			
履行状況（実施したこと、もしくは実施できなかったこと）	実績（成果、効果）数値		評価
	基準（前）	現在（後）	
【充実】 ①突発的事象への迅速な対応と利用団体への影響の最小化 クマらしき動物の目撃情報により、野外活動の中止や内容変更が必要となったが、安全確保を最優先とし、所管課や関係機関と連携しながら迅速に対応した。 影響が見込まれる約50団体に対して個別に連絡を行い、活動内容の変更や代替プログラムの提案等の調整を行った結果、利用団体の理解と協力を得ながら、活動機会の確保と教育効果の維持を図りつつ、受入れを円滑に実施することができた。	令和6年度下半期においては、天候不良等による活動変更時には個別対応を行っていたが、複数団体に影響が及ぶ突発的事象に対する体系的な調整や代替プログラムの提案は限定的であった。	令和7年度下半期においては、約50団体に対して活動内容変更や代替プログラムの提案を行い、個別調整を実施した結果、活動中止を最小限に抑えるとともに、利用機会の確保と満足度の維持につなげた。	S
【充実】 ②岐阜市立草湊中学校との関わりの強化（ニーズに応じた新規提案） 不登校特例校である草湊中学校との関係強化を図るため、学校活動に積極的に参加した。 マルシェ形式での実施を希望する生徒の要望を踏まえ、従来の自然遊び中心の内容から、木材をバーナーで加工する「ウッドバーニングコースター」づくりを新たに企画・実施した。 また、Instagram写真展の更新も行い、継続的な関わりを維持した。これらの取組により、生徒の主体性を尊重した体験機会の提供と交流の深化につなげている。	令和6年度下半期においては、自然遊びを中心とした体験活動を実施していたが、生徒の要望を踏まえた内容の見直しや新たな体験プログラムの提供は限定的であった。	令和7年度下半期においては、生徒の要望に応じてマルシェ形式で出展し、「ウッドバーニングコースター」づくりを実施した。 これにより、主体的な参加を促すとともに、生徒の関心を高める体験機会の充実につなげた。	
所管課の意見			評価
クマによる人身被害が過去最多レベルに達するなど、突発的かつ深刻な事象が急増している状況で、安全確保を最優先として活動内容変更や代替プログラムの提案等をし、活動機会の確保と受入れを実施することができたことは評価できる。また、岐阜市立草湊中学校の学校行事にて、生徒の要望を取り入れた出展を実施し、生徒の関心を高める機会の充実につなげたことは、対象施設の効用（設置目的）を最大限発揮しているといえるため、S評価とした。			S

(6) 施設の効用（設置目的）を最大限発揮できるスタッフの配置

高度な専門性とノウハウを備えた専門職員が、充実した指導・支援を行っているか。

指定管理者の意見			
履行状況（実施したこと、もしくは実施できなかったこと）	実績（成果、効果）数値		評価
	基準（前）	現在（後）	
【充実】 専門性を生かした指導体制の充実 専門性とノウハウを有する職員を適切に配置し、利用者の発達段階や目的に応じた指導・支援を行った。 下半期には、キャンプ・レクリエーション指導資格や保育・教育系資格等に加え、自然観察指導員の資格取得を進め、自然理解を深める指導力の向上を図った。 これにより、幅広い利用者に対応できる指導体制を強化するとともに、安全性を確保しながら、より専門性の高い自然体験活動の提供につなげている。	令和6年度下半期においては、労働安全衛生法特別教育の修了やキャンプインストラクターの資格取得、普通救命講習の更新等を実施し、職員の専門性向上と安全管理体制の維持を図った。	令和7年度下半期においては、キャンプ・レクリエーション指導資格や保育・教育系資格に加え、自然観察指導員や施設管理・救命に関する資格の取得・更新を進め、前年と比較して資格分野および取得者数の拡充を図った。これにより、指導内容の充実と教育的効果の向上につなげた。	S
所管課の意見			評価
自然の家においては、高度な専門性を持つ人材を確保し、それを活かすチームとしての指導体制を築くことが、利用者の安全や自立を促進する高い効果を生み出すため、新たに新規資格を取得し指導内容を充実させたことは高く評価し、S評価とした。			S

Ⅳ安定性安全性（事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること）

(3)組織及びスタッフ（採用予定者も含む）の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識など

自然の家の運営に適した資格を保持し、職員の専門性とノウハウを活用できているか。

指定管理者の意見			
履行状況（実施したこと、もしくは実施できなかったこと）	実績（成果、効果）数値		評価
	基準（前）	現在（後）	
【充実】 ①職員の専門性・ノウハウを生かした事業協力 自然の家の運営を通じて培った職員の知識や自然体験活動に関するノウハウを活用し、地域イベントや学校、児童センター等において出前講座や事業協力を実施した。 下半期においては、自然素材を活用したクラフト体験を通して、子どもたちが自然に親しみながら学べる機会を提供した。 また、新たに4団体と連携した事業を実施するなど活動の場を広げ、継続的かつ安定的に事業協力を行う体制の充実につなげている。	令和7年度上半期においては、子ども会や公民館、小学校等において自然素材クラフト指導や総合学習支援を実施し、地域と連携した事業協力を行った。 （主な活動） ・長森本町1丁目子ども会（自然素材クラフト指導） ・網代子ども会（自然素材クラフト指導） ・柳津公民館（自然素材クラフト指導） ・三輪北小学校（総合学習：石田川たんけん・講師）	令和7年度下半期においては、放課後児童クラブや学園、児童センター等へ活動の場を広げ、複数団体と連携した事業協力を実施した。これにより、多様な利用層への対応と連携先の拡充を図り、職員の専門性を安定的に発揮できる体制の強化につなげた。 （主な活動） ・梅林小学校放課後児童クラブ（自然素材クラフト指導） ・藍川北学園1～4年（自然素材クラフト指導） ・長良児童センター（自然素材クラフト指導） ・サンフレッドみわ（自然素材クラフト指導）	S
【充実】 ②職員の専門性向上と保有資格の拡充 自然の家の運営に必要な資格の取得や更新を計画的に進め、職員の専門性向上と安全管理体制の強化を着実に実施した。 これらの資格は、自然体験活動の安全な実施に加え、施設設備の適切な維持管理にも活用されており、利用者が安心して活動できる運営体制の確保につながっている。 また、資格取得・更新を通じて、指導力・安全管理・施設管理の各方面において体制の強化が図られ、安定的かつ質の高い施設運営の実現につながっている。	令和6年度下半期に拡充した資格等 (1)指導力の強化（教育系） ・キャンプインストラクター1名 (2)安全管理体制の強化 ・普通救命講習13名更新 (3)施設管理能力の向上 ・労働安全衛生法特別教育1名修了 (4)その他 ・各種研修受講（随時）	令和7年度下半期に拡充した資格等 (1)指導力の強化（教育系） ・キャンプインストラクター1名 ・レクリエーションインストラクター1名 ・自然観察指導員1名 ・保育士1名 ・幼稚園教諭1名 (2)安全管理体制の強化 ・赤十字ベリジックライフサポーター1名 ・応急手当普及員1名更新 ・普通救命講習12名更新 (3)施設管理能力の向上 ・第2種電気工事士1名 ・2級機械保全技能士1名 ・3級電気機器組立て技能士1名 (4)その他 ・各種研修受講（随時）	
所管課の意見			評価
自然素材を活用したクラフト体験を放課後児童クラブや児童センター等の新たな団体と連携し、事業の拡充を図った。また、「職員の専門性向上」として、自然の家の運営に適した資格の取得や更新を計画的に進め、職員の専門性向上に努めたことを評価し、S評価とした。			S

(6)リスクへの対応方策、利用者への安全確保策、防止策、非常時の対応マニュアルなど）

リスクへの対応に万全を期し、安全・安心な施設運営を行っているか。

指定管理者の意見			
履行状況（実施したこと、もしくは実施できなかったこと）	実績（成果、効果）数値		評価
	基準（前）	現在（後）	
【充実】 野生動物リスクへの対応強化 自然環境に立地する施設の特性を踏まえ、野生動物によるリスクに対して実効性の高い安全対策を講じるため、専門家を招いたクマ対応研修を実施した。 研修では、出没時の初動対応、利用者の安全確保、未然防止策等について実践的に学び、職員の危機対応力の向上を図った。 さらに、研修内容を施設の対応マニュアルや日常の指導体制に反映し、野生動物リスクに対する組織的かつ継続的な安全管理体制の強化につなげている。	令和6年度下半期においては、安全管理に関する研修や資格取得を中心に対応しており、野生動物リスクに特化した体系的な取組は限定的であった。	令和7年度下半期においては、専門家によるクマ対応研修を実施し、対応手順の共有と職員の対応力向上を図った。これにより、施設特性に応じた実践的なリスク対応体制の強化につなげた。	S
所管課の意見			評価
施設における安全管理体制は、利用者の生命と身体を守るため、専門家を招き職員研修を実施し職員の危機管理対応力の強化をしたことは高く評価できるため、S評価とした。			S

V 貢献性（事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域（以下「地元」という。）の振興、活性化）などに貢献できるものであること

(1) 地元の法人その他の団体の育成（一部業務の再委託先）

三輪地域の振興に貢献できるような協力事業、出展事業を推進しているか。
市内各種団体の健全な育成に寄与できるよう努めているか。

指定管理者の意見			
履行状況（実施したこと、もしくは実施できなかったこと）	実績（成果、効果）数値		評価
	基準（前）	現在（後）	
【継続】 ①受入事業における三輪地域との連携 野生動物の目撃情報により近隣の山が入山禁止となったことから、山に入らない既存プログラム「みわっこ文化探検隊」を学校団体へ提案した。 その結果、三輪地域の道路や寺院、文化財などを巡る活動が選択され、児童が地域の歴史や文化に触れる機会の創出につながった。 また、本プログラムの実施にあたっては三輪北小学校の協力を得るなど、地域と連携した受入体制の構築と地域資源の活用促進につなげている。	令和6年度下半期においては、「みわっこ文化探検隊」の選択実績はなく、地域資源を活用した受入プログラムの活用は限定的であった。 （実績） ・「みわっこ文化探検隊」選択団体数：0団体	令和7年度下半期においては、「みわっこ文化探検隊」が6団体に選択され、三輪北小学校と連携した活動を実施した。これにより、地域資源を活用した体験機会の創出と地域理解の促進につながった。 （実績） ・「みわっこ文化探検隊」選択団体数：6団体 ・地域協力：三輪北小学校	S
所管課の意見			評価
野生動物の目撃情報により入山禁止となったが、リスクを最小限に抑えた三輪地域の歴史や文化資源の再発見、地域の愛着を深める促進につながる事業を推進したため、S評価とした。			S

●指定管理者評価委員会の意見

- ・クマ等の危険生物への対応について、安全対策や情報共有体制の強化が必要である。
- ・食事内容の改善が見られ、利用者サービスの向上が評価できる。
- ・専門職員の確保・育成を進め、安定した運営体制を維持することが重要である。
- ・安全を確保しながら、魅力ある自然体験活動を提供できるよう工夫が求められる。
- ・指定管理者のノウハウを活かすため、行政側の知識継承も重要である。